

Q&A

鼠径ヘルニア・脱腸の症状とは？

さらなくなり本来あるべき場所から外へ異常な脱出をする状態のこと。下腹部や足の付け根の事を鼠径部と呼びますが、鼠径部から小腸と大腸などの臓器がおなかの外に出る病気を「鼠径（そけい）ヘルニア」といい、「脱腸」とも呼ばれています。

持続的な疼痛がある場合やおなかの臓器が脱出して戻らない場合は緊急手術になる可能性のある危険な状態です。鼠径ヘルニア治療法は手術しかありません。最近では日帰り手術ができます。早めに医師の診察をお勧めします。

Q 最近、大工の父が仕事中に下っ腹が痛くなることがあり、しこりらしきものも足の付け根と太ももの周囲にあるようです。これは一体何でしょうか。治療は必要ですか？



太田勝也 医師
ヘルニアセンター長

A 横になって寝て押すとそのしこりが引っ込んで治るものの、違和感や痛みがある症状の場合、鼠径（そけい）ヘルニアの可能性があります。ヘルニアとは、臓器が収まり

取材協力 外科・日帰り手術センター

太田医院 そけいヘルニアセンター

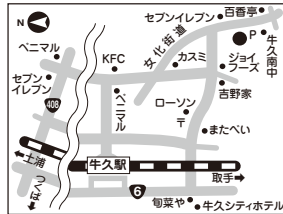
<https://otaiin.com>

牛久市さくら台1丁目18-2(P25台)

☎029-874-2281

休診日/日・祝日・第2木曜日

診療時間/9:00~12:00 15:00~18:00(木・土曜午前診)



JR常磐線牛久駅より車で9分